

# あおり13(北紅)<sup>きたくれない</sup>

登録番号：第11255号	鈴木長蔵 山田三智穂
登録年月日：平成15年3月26日	来歴：「世界一」と「あかね」の交雑
登録者：青森県（青森県青森市長島一丁目1番1号）	実生
育成者：佐藤耕 町田郁夫 今智之 工藤剛 石山正行 北山弘	育成地：青森県黒石市（青森県農林総合研究センターりんご試験場）

## 特性

### ■栽培特性

樹勢は中程度であるが、幼木期には強く、枝が直立する。果実が成り込んでくると樹勢は落ち着き、枝が出にくくなる。樹姿は中間型である。枝梢の太さはおよび節間長は中程度で、対照品種の「レッドゴールド」に比べやや長い。葉の大きさは中で、形状は長円、長さは短である。

開花期は「ふじ」より1日程度遅い。交雑和合性は、「ふじ」、「つがる」、「玉林」と和合性であるが、「紅玉」とは不和合性である。収穫期は青森県黒石市では10月上旬で、「千秋」とほぼ同時期である。

結実枝は短果枝が多く、比較的早期から花芽が着生し、えき花芽も多い。結実部位によっては成熟不良果が発生するため、摘果に注意する。

### ■果実特性

果実の大きさは400g程度、果形は扁円形で「レッドゴールド」より扁平である。果皮色は濃赤色で、「レッドゴールド」に似る。全面に良く着色し、縞は入らない。こうあ部にわずかにサビがみられる。果梗の長さおよび太さは中で、肉梗が発達する。収穫直後の硬度は16ポンド前後、糖度は「レッドゴールド」より高く14～15%、リンゴ酸含量は「レッドゴールド」に比べてやや低く、0.3g/100ml程度である。果肉の色は黄白色、肉質はやや緻密で蜜が入り、甘味が強く、食味良好である。蜜が多く入った果実は、独特の香気を発する。心かびの発生率は「レッドゴールド」より低い。日持ちは室温で3週間程度、普通冷蔵で2ヵ月程度である。

### ■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

斑点落葉病に対しては強いが、黒星病に対しては他の栽培品種と同様に弱い。病虫害防除については「ふじ」に準じた薬剤散布回数で問題がない。

本品種は、樹の違いや年によって7月まで順調に生育した果実が、8月に入って肥大が鈍り、着色が薄く、味ののらない成熟不良果が多く発生することがある。中、長果枝に良品果が多く結実するので、樹勢を早めに落ち着かせることが重要であり、剪定は弱めとし、誘引を主体に行うようにする。摘果は、こうあ部にサビがないものをやや多めに残し、8月上旬頃に見直し摘果を行い、成熟不良果を摘果する。また、全面に良く着色するため、着色管理はつる元や果実に直接着いている葉を摘む程度でよい。濃紅色に着色した果実は蜜が多く入り、良い風味があるが、紅色程度に着色した果実は、十分味がのっていないので、収穫は着色の強さをみて、2回ぐらいに分けて適期に行うことが望ましい。

### ■地域適応性

青森県内における適応性試験では、土壌等の違いにかかわらず、広い地域で適応性がある。全国的には各試験場で試験を始めて間もないため、しばらくの間、検討が必要である。

(工藤 剛)